

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 KRK プリントゾール
会社名 株式会社 此花
住所 大阪市天王寺区石ヶ辻町 10-2
担当者
電話番号 06-6772-0471
FAX 番号 06-6772-3793
緊急連絡先 同上
改訂 平成 25 年 05 月 28 日
整理番号 128

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

- * 引火性液体：区分 3（炎マーク）
 - 急性毒性（経口）：区分外
 - 急性毒性（経皮）：区分外
 - 急性毒性（吸入ガス）：分類対象外
 - 急性毒性（吸入ミスト）：分類できない
 - 皮膚腐食性/刺激性：区分 3（マークなし）
 - 目に対する重篤な損傷/刺激：区分 2B（マークなし）
 - 呼吸器感作性：分類できない
 - 皮膚感作性：分類できない
 - 生殖細胞変異原性：区分外
 - 発がん性：区分外
 - 生殖毒性：区分外
- * 特定標的臓器・全身毒性（単回曝露）：区分 3（感嘆符マーク）
 - 特定標的臓器・全身毒性（反復曝露）：分類できない
- * 吸引性呼吸器有害性：区分 1（人体マーク、注意喚起語：危険）
 - 水生環境急性有害性：区分 2（マークなし）
- * 水生環境慢性有害性：区分 2（魚マーク）

GHS ラベル要素シンボル



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性液体	：引火性の液体及び蒸気
皮膚腐食性/刺激性	：軽度の皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	：眼刺激
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	：呼吸器への刺激のおそれ、 又は眠気および目まいのおそれ
吸引性呼吸器有害性	：飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生環境急性有害性	：水生生物に毒性
水生環境慢性有害性	：長期的影響により水生生物に毒性

3. 組成成分情報

単一製品・混合物の区分	：単一製品
化学名	：石油系炭化水素
成分及び含有量	：原油の常圧蒸留で得られる留出油を水素化精製した留分で、主に C8～C11 の範囲の石油系炭化水素
化学式又は構造式	：特定できない
官報公示整理番号	：9-1702（化審法）、12-140（安衛法）
CAS No	：64742-82-1
国連分類/国連番号	：クラス 3（引火性液体、PG3）/1300
安衛法通知対象物（重量%）	：ミネラルスピリット 100% キシレン 2%
PRTR 法報告物質（重量%）	：キシレン 2% ：1,2,4-トリメチルベンゼン 1.8%

4. 応急処置	目に入った場合	：清浄な水で裁定 5 分間眼を洗浄したのち、医師の手当てを受ける。
	皮膚に付着した場合	：水と石鹼で付着した部分を洗う。
	吸入した場合	：①.新鮮な空気のある場所に移す。体を毛布等でおおい、保温して安静に保ち、ただちに医師の手当てを受ける。

- ②.呼吸が止まった場合及び呼吸が弱い場合は、衣類を緩め、呼吸気道を確保した上で、人工呼吸を行う。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合は、水で十分に洗うこと。
5. 火災時の措置 消火方法 : ①.初期の火災には、粉末、炭酸ガスを用いる。
②.大規模火災の際は、泡消火器を用いて空気を遮断することが有効である。棒状水は、火災を拡大し危険な場合がある。
③.周囲の設備などに散水して冷却する。
④.消火作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。
⑤.火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 消火剤 : 霧状の強化液、粉末、炭酸ガス、泡が有効である。
6. 漏出時の処置 : ①.全ての着火源を速やかに取り除き、漏洩箇所の漏れを止める。
②.危険地域より人を退避させる。危険地域の周辺にはロープを張り、人の立ち入りを禁止する。作業は消火用保護具を着用する。
③.少量の場合は、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。
④.大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、液面を泡で覆い容器に回収する。
⑤.下水道・河川等に流出し、二次災害・環境汚染を起こさないように注意する。
⑥.室内で漏洩した場合は、窓・ドアを開け十分に換気を行う。
⑦.海上の場合はオイルフェンスを展開して、拡散を防止し、吸着マット等で吸い取る。
7. 取り扱い及び保管上の注意 : ①.指定数量以上の量を取り扱う場合には、法で定められた基準に満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行う。
②.炎、火花または高温体との接触を避けるとともに

みだりに蒸気を発散させないこと。

- ③. 静電気対策を行い、作業着、靴等も導電性のもの
をもちいる。
- ④. 口で油を吸い上げるようなことはしない。
- ⑤. 皮膚触れたり、目に入る可能性がある場合は保護
具を着用する。
- ⑥. 室内で取り扱う場合は、十分な換気を行う。
- ⑦. 容器を転倒させたり、衝撃を与える等の粗暴な取
り扱いをしない。
- ⑧. 一度栓を開けた容器は必ず密栓をしておく。

保管

- : ①. 冷暗所で換気の良い場所に保管する。
- ②. 危険物の表示をして保管する。
- ③. 熱、スパーク、火災並びに静電気蓄積を避ける。
- ④. 保管場所で使用する電気製品は防爆構造とし、器
具類は接地する。
- ⑤. ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と
の接触並びに同一場所での保管を避ける

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：溶剤として規定はなし

許容濃度：

ACGIH TWA 値（時間加重平均値） 100ppm (525mg/m³)

参考値（当社推奨値） TWA 値 100ppm (525mg/m³)

設備対策：屋内作業は、防爆タイプの排気装置を設置する。

保護具：必要に応じて保護眼鏡、対油保護手袋、呼吸用保護
具等を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等：無色透明液体、微石油臭

沸点：150～200℃

蒸気圧：1kpa 以下（37.8℃）

凝固点：-40℃以下

密度：0.78g/cm³（15℃）

初留点：150～160℃

溶解度 水：不溶

蒸気密度（空気=1）：4～5

引火点 (TAG) : 40~45°C

10. 安定性及び反応性)

安定性 : 常温で暗所に貯蔵・保管された場合安定である。
 爆発限界 : 上限 6.5 容量%/下限 0.6 容量% (推定値)
 発火性 : 自然発火性なし、水との反応性なし
 発火点 : 約 230°C
 可燃性 : あり
 酸化性 : あり
 反応性 : 強酸化剤との接触を避けること

11. 有害性情報

皮膚腐食性 : 現在のところ有用な情報なし。
 刺激性 (皮膚・眼) : 皮膚に対して弱い刺激性がある。
 : 高濃度の蒸気 (約 1000ppm 以上) 又はミストは眼を刺激する。
 : 高濃度の蒸気やミストの吸入は呼吸器を刺激し、頭痛、麻痺、眠気、意識不明のような症状を引起こしたり、中枢神経に影響を与えることがある。
 感作性 : 現在のところ有用な情報なし。
 急性毒性 : 経口 ラット LD50 2g/kg 以上
 経皮 ラビット LD50 2g/kg 以上
 吸入 ラット LC50 5mg/L 以上
 亜急性毒性 : 現在のところ有用な情報なし。
 慢性毒性 : 液との長期間又は繰返しの接触は、皮膚の脱脂、乾燥、ひび割れを起こし、皮膚炎になることがある。
 : ミストを長期間、過度に吸入すると、肺に慢性的な炎症を起こし、肺動脈繊維症となることがある。
 がん原性 : IARC (国際がん研究機関) は、石油系溶剤 (Petroleum Solvents) を「IARC グループ 3 (ヒトに対して発がん性について分類できない物質)」に分類している。 G)
 変異原性 : ネズミチフス菌によるテストでは、代謝活性の有無のそれぞれで、変異原性を示さなかった。 C)
 : マウス・リンパ球によるテストでは、代謝活性の有無のそれぞれで、変異原性を示さなかった。 C)
 : ラットの骨髄細胞によるテストでは、染色体異常の誘発はみられなかった。 C)

- 生殖毒性 : 現在のところ有用な情報無し。
- 催奇形性 : 400ppm 濃度の上記暴露による催奇形性試験では、悪影響は認められなかった。
- ・その他 : 190ppm 蒸気濃度で 3 ヶ月間、類似物質で動物による吸入実験を行った結果、何ら異常が認められなかった。
- : 誤飲した場合、胃の粘膜を刺激し、嘔吐、胃痛、下痢等の症状を起こすことがある。また、飲み込んだ本品が肺に吸入されると、肺組織の内出血、肺水腫、化学性肺炎等を起こすことがある。

12. 環境影響情報

- 分解性 : 現在のところ有用な情報無し。
- 蓄積性 : 現在のところ有用な情報無し。
- 魚毒性 : 現在のところ有用な情報無し。

13. 廃棄上の注意

- ①.燃焼する場合は、安全な場所で、かつ、燃焼または爆発によって他の危害または損害を及ぼす恐れのない方法で行うとともに、見張りを付ける。または自治体の指示による。
- ②.大量の処理は産業廃棄物処理業者に依頼する。
- ③.海、河川、湖その付近及び排水溝に廃棄してはならない。
- ④.その他関係法令の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

- ①.運搬容器及び包装の外部に、品名、数量、危険等級及び「火気厳禁」の表示をする。
- ②.指定数量以上を車両で運搬する場合は、「危」の標識を車両前後に表示し、消火設備を備える。
- ③.陸上輸送の場合、運搬時の積み重ね高さは 3m 以下とする。
- ④.第 1 類及び第 6 類の危険物との混載禁止。
- ⑤.その他関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

- 消防法 : 危険物第 4 類第 2 石油類 (非水溶性液体)
- 労働安全衛生法 : 危険物 (引火性の物)、有機則の第 3 種有機溶剤 (ミネラルスピリット)
- PRTR 法 : 該当 第 1 種指定 (No.80 キシレン / No.296 1.2.4-トリメチルベンゼン)
- 船舶安全法 : 告示別表第 5 (引火性液体類)
- 航空法 : 告示別表 3 (引火性液体)

港則法 : 引火性液体類
道路運送車両法 : 危険物、爆発性液体
海洋汚染防止法 : 海洋汚染物質 P
下水道法 : 鉱油類排出規制
水質汚濁防止法 : 油分排出規制
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物規則 (特別管理産業廃棄物/廃油)

16. その他の情報

参考資料

- ①.製品安全データシート の作成指針 (日本化学工業会)
- ②.原油性状及び石油製品出荷性状表 (石油連盟、平成 2 年 5 月、平成 4 年 2 月)
- ③. C) IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF CARCINOGEN RISK TO HUMAN :VOLUME 45
- ④. G) IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF CARCINOGEN RISK TO HUMAN:VOLUME 47
- ⑤.石油製品安全データシート作成の手引き (石油連盟 平成 5 年 12 月)
- ⑥.Material Safety Data Bulletin 1994/11/02 (Mobil Oil Corporation)

【注意】

★安全データシート(SDS)は、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考資料として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用される様御願います。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

★この「安全データシート (SDS)」は JIS Z 7253 : 2012 に基づいて作成したものです。